

報告事項1

資料1

関交企第140号
令和7年3月28日

各地域公共交通確保維持改善事業
実施協議会 会長 殿

関東運輸局長
(公印省略)

地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

標記について、地域公共交通確保維持改善事業実施要領（平成23年4月1日付け、国総計第5号、国鉄財第4号、国鉄業第4号、国自旅第20号、国海内第8号、国空環第5号）8.（1）②の規定に基づき、地域公共交通確保維持改善事業に係る二次評価を実施しましたので、評価結果を通知します。

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月30日

協議会名: 上里町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内ライダーシステム確保維持費用庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
株式会社協同バス	中央ルート 北部ルート 南部ルート	・利用者アンケート調査、利用者OD調査については、実施した。 ・高齢者へのコミュニティバスの利用促進支援事業として実施している高齢者無料バスについては、令和4年9月に交付対象要件を変更したことにより、今年度においても発件数が増加し、利用者の増加にも繋がった。また、年度内2回開催の交通安全講習会において、高齢者の交通安全を啓発するとともに、バスの利用案内を積極的に実施した。 ・駅を中心とした、まちづくりと連携し、「コンパクト・プラス・ネットワーク」の実現に向け、新たな地域公共交通計画(短期計画)及び次期公共交通形態であるコミュニティバス運行計画、デマンド交通運行計画の策定に係る準備を進めた。	A	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	・令和7年4月1日を以て公共交通形態が変更となるものの、現行での交通形態においては継続的に高齢者無料バスの啓発及び利用者ニーズに対応した「わがしの時刻表」を活用し、利用者数の増加を図っていく。 ・駅を中心とした、まちづくりと連携し、「コンパクト・プラス・ネットワーク」の実現に向け、令和7年4月以降の新たな地域公共交通計画(短期計画)の策定準備を進めていく。また、同作業と並行して、次期公共交通として令和7年度より再編するコミュニティバス及び新たに開始するデマンド交通の運行準備を進めていく。
			B	事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。 【目標】 ①年間利用者数 21,750人 ②高齢者無料バスの発件数 280件 【実績】 ①年間利用者数 19,275人 ②高齢者無料バスの発件数 313件 【分析】 利用者数は目標値の達成に至らなかったが、昨年(17,714人)よりも約1割増と、継続的に増加している。高齢者無料バスについては、交付要件の変更により昨年度の伸び率には届かないものの、目標値を達成することができた。	

地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	高齢者無料バスの発行などの取組は評価できるが、年間利用者数の目標は未達成となった。 引き続き、利便性向上を図り、利用者数の増加に努められることを期待する。 第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。 ・現在取り組んでいる需要喚起策のほか、今後利用者となりうる住民等に対して新たな取組を検討していただきたい。 ・導入している交通によって町民の活動がどのように変わってきたのか、必要に応じて副次的な効果を分析することも検討していただきたい。
---------------------------------	---